

令和6年度第2回糸魚川市地域公共交通協議会

【日時及び会場】

令和6年11月19日（火）10:00～12:00

糸魚川市民会館 3階会議室

【出席委員】

井川賢一会長、吉田学委員、田村治委員代理、塚田二郎委員、渡辺郁子委員、武田礼子委員代理、坂藤未知祐委員代理、山田明男委員、高村直樹委員代理、大貫清志委員、廣井亘委員、石口昇委員、吉原忠雄委員代理、石田啓介委員代理、山田大輔委員代理、野本宏一委員、渡辺一彦委員 以上 17人

【事務局】

産業部：五十嵐博文部長

都市政策課：内山俊洋課長（事務局長）、伊井隆広課長補佐（事務局次長）、
中村正利交通政策係長、仲川智明主査、西依洸介主事

企画定住課：廣川一幸係長

福祉事務所：仲谷貴子係長

【会議の概要】

1 開会

- ・伊井課長補佐の進行で10:00開会

2 会長挨拶

- ・会長（糸魚川市副市長）による挨拶。

＜会議成立報告＞

- ・委員出席状況は、総数27人中17人が出席となり、協議会規約第9条第2項に規定する過半数に達していることから、本会議の成立要件を満たしている旨を報告。

3 議事

- ・議事進行は会長（糸魚川市副市長 井川会長）

議案第1号 糸魚川市地域公共交通計画（マスタープラン）案

委員：地域公共交通計画の多くは5年程を計画期間としているが、今回10年間とした意図は何か。

事務局：移動の足を地域の方と対話して考えていこうとした際に、やり方を変えようとする時間がかかるため、10年間の計画期間とした。

委員：目指す将来の交通網に向けて、令和何年までに目指すといったロードマップはあるか。

事務局：地域と話し合っていく中で検討を進めたい。

委員：指標2について、公共交通に関する経費は年々上がっており、人口は減っている。目標達成が相当厳しいと思うがいかがか。

事務局：現状維持できるように効率的な運行や減便等、地域と話していく。

委員：指標等は毎年計測するのか。

事務局：基本的にはPDCAサイクルとして毎年確認し、協議会で共有する。

委員：公共交通の利用が朝夕に偏っており、間の時間がもったいない。事業者側からすると、学校の登下校時間や病院の診察時間など、ちょっとづつ時間がズレると利用が分散して助かる面もある。

事務局：学校や病院側で時間を調整いただけると非常に効率的な運行ができると思うが、社会構造を変えないと難しい。

事務局：混雑する時間をさけるように利用者側の行動を変えることも一案。

委員：バス運転手が足りない。まわりの方にお声がけをお願いしたい。

委員：ドライバー不足が深刻な状況であったことから、専任の担当者を採用し集中的に採用を強化した。県外にも求人を出した結果、県外から数人採用に至った。県外の方であったため、期間限定で住宅手当の支給も行っている。人材確保として支援等ご協力いただけるとありがたい。

委員：ドライバーが高齢化している。若い人が入っても定着しない。賃金や夜間勤務がネック。労働環境の改善に支援いただきたい。

事務局：事情はお聞きしている。タクシーがないと夜の飲食店にも影響する大きな課題と考えている。

事務局：資料に「委員意見書」を添付している。計画をご覧いただき、意見があれば記入して返信いただきたい。

必要な修正を加え、1月から2月にパブリックコメントをかける。その後、協議会にて最終案をご審議いただく予定。

（決議）原案のとおり承認

4 その他

- ・議事進行は伊井課長補佐

○大糸線利用促進の取組み

事務局：6月1日から糸魚川駅から白馬駅までを臨時増便バス事業を実施しており、冬期間に入るため今回冬期ルートとダイヤを設定し変更する。

○自動運転の視察報告

事務局：10月23日に福井県永平寺町での自動運転実証実験の視察を実施。現在、国内最先端の自動運転レベル4で実験を実施中。まだ課題も多い状況であるが参考となる部分もあった。

○交通事業者の近況報告

事務局：来春のダイヤ改正について、1月末から2月初めごろに協議会を予定。

5 閉会

(12:00 終了)

■協議会の様子

